

二〇八六番

彦星ひこほしの 妻呼つまよぶ舟ふねの 引ひき綱づなの 絶たえむと君きみを
我あが思おもはなくに

二〇八七番

渡わたり守もり 舟出ふなでし出いでむ 今こよひ夜のみ
逢あはじものかも 相見あひみて後のちは

二〇八八番

隠かくしたる 梶かぢ棹さなくて 渡わたり守もり 舟貸ふねかさめやも
しましはあり待まて